

## 児童・生徒用読書通帳のD X活用について

### 1 趣旨

読書通帳は、本のタイトルや書評を記録することで、読書状況を可視化し、読書意欲の向上につながるものとして、区立小中学校で活用されている。

中央図書館では、この普及のため、小学校で読書通帳の様式を作成しており、中学校では新入生に必要な数を印刷して配付している。

令和3年度から学校教育にG I G A端末が導入されたことを踏まえ、読書通帳を以下のとおり電子化する。

### 2 電子化について

#### (1) 対象

小学4年生から中学生

※小学校低学年では自分の文字で書くことが重要な時期であることから紙媒体を継続。

#### (2) 方法

電子化した読書通帳の様式を各学校で classroom に配信する。

#### (3) その他

独自の読書ノート等を作成し運用している学校は紙媒体の運用を継続できるものとする。

### 3 開始時期

小学校：令和4年度中に検討し、実施

中学校：令和4年度から実施

※電子化により、紙媒体の配付は終了する。